

相生市議会だより

第 102 号

平成23年 9月10日

発行：相生市議会<相生市旭一丁目1番3号 ☎23-7122>

編集：議会報編集委員会



津波対応訓練

六月議会から

六月定例市議会は、六月六日から六月二十日までの十五日間にわたって開催されました。

今期定例会では、報告二件、条例改正一件、事件案件一件、補正予算一件、選挙一件、人事案件三件、請願二件を審議し、すべての案件は、可決、承認等されました。その主なものは六ページにまとめました。

一般質問は、九名の議員が行い、市当局の現状、方針等考え方をただしました。その概要については、二、三ページにまとめました。



〈6月議会〉 一般質問

災害に対する相生市
の対応について
市民病院について

さかくち まさや
阪口 正哉

問 ゲリラ豪雨等によ
り矢野川と小河川の
合流地点の左岸が決壊し
た場合、若狭野町八洞、
福井、野々の一部に浸水
が想定されるが住民の避
難場所はどのように考え
ているのか。

答 市が避難準備情報
や避難勧告等を発令
し、災害の程度、状況を
十分検討した上で指定避
難所である若狭野多目的
研修センター、若狭野小
学校、矢野川中学校への
避難をお願いすることに
なります。

問 矢野川流域に河川
監視カメラの設置計
画があると聞いているが、
設置場所も含め経緯をお
聞かせください。
答 兵庫県が、はんら
ん危険度を予測する



河川監視カメラ・水位計

システムの構築を検討し
ており、御門橋付近に水
位計とセンサー、河川監
視カメラを設置し、六月
より試験運用を行います。

問 災害弱者の避難に
ついてはどのように
考えていますか。
答 災害時要援護者支
援マニュアルに基づ
き、地域での避難支援体
制作りを進めたいと考え
ています。

問 市民病院の訪問診
療が四月から矢野地
区で実施されているが、
今後の進め方はどうか。

答 将来的には、矢野
地区に限らず柔軟に
対応していく予定です。

防災対策について
津波対策について

みやくさ まき木
宮艸 真木

問 南海地震による津
波が発生したときに
相生湾内でどれくらい
高さになるのか。また、
今の防潮堤で防げるの
か。

答 相生湾内での水位
は、津波本体一・三
メートル、満潮時の〇・八メートルを
加えて最高二・一メートルを
想定しています。防潮堤は
三・五メートルなので、通常で
は収まると認識していま
す。

問 最悪の条件として
台風の高潮と重なる
とどうなるのか。

答 平成十六年の台風
高潮被害時の高さが
二・四メートルで、津波本体
の一・二メートルを加えると三・
七メートルが考えられる。最
高値では現防潮堤を二十
センチ超えると予測して
います。

問 避難誘導訓練の現
時点での計画と訓練
ポイントは。

答 計画は、住民自ら
津波から逃げる行動
をとってもらい、市や防
災関係機関は避難誘導を
行います。ポイントは、
限られた時間で、どこへ
逃げれば安全かを、津波
被害想定の対象エリアの
方々に意識を高めていた
だくような訓練を計画し
ています。

問 津波を想定して道
路に矢印を書いて高
台へ避難誘導できるよ
うにすればどうか。



津波対応訓練

答 災害の規模・状況
に応じた避難経路を
住民の方に常に意識して
もらうことが必要で、避
難時に混乱させないよう
に、現在は道路に記載す
る考えはありません。

問 防災行政無線導入
のための検証を始め
るべきだと考えるがい
かが。

答 防災行政無線は、
震災において有効な
手段と評価しているが、
ゲリラ豪雨の時は聞こえ
なかったとの事例もあり、
他の方法も含めてより迅
速、確実に伝わる情報手
段を検討します。

市内公園について

しばた かすお
柴田 和夫

問 市内公園の管理、
清掃委託の状況はど
うなっているか。

答 街区公園は、地元
自治会や団体に管理
を委託し、地区公園は、
シルバー人材センター等
に除草や清掃を委託して
います。

問 今後の公園づくりについて。

答 今後、公園を設置する際には、住民のニーズの把握に努め、維持管理についても地元と十分に協議したいと考えています。

問 県設置の公園の管理運営はどのようになっているか。

答 市は除草、清掃などを県からの委託などにより行っています。また、点検も行っており、異常を発見した場合は、県へ連絡し、対応を依頼しています。

相生港港湾公園については、「みなとオアシス」に登録し、公園の整備が行われており、公園内への施設設置については、現在国・県と協議中です。

問 公園遊具の点検、取り換え等についてお伺いします。

答 昨年、専門業者による点検を実施し、順次修理、改善に努めています。

問 中央公園の洋式トイレへの改善、ベンチ等の設置についてお伺いします。

答 中央公園の多くの利用者から洋式トイレへの取り換え、ベンチ設置の要望があるので、早々に対応を検討します。

問 公園の特定利用者の独占利用について問題はなにかお伺いします。

答 中央公園の利用に当たっては、特定利用者の独占利用にならないよう調整するため、事前に申し込みを受け付けており、同じ利用目的で申し込みがあった場合は、利用スペースの譲りあいをお願いするなど行っています。



問 避難所施設について、高齢化により、地域によっては避難に無理があるのではないかと懸念しています。

答 新たな施設整備は困難であり、既存の避難所施設に高齢者等が利用しやすい施設整備を行うことが必要であると

考えています。

問 坪根地区・矢野地区が孤立化した時の行動計画はどうなっているのか。

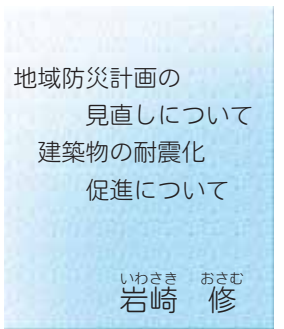
答 現在、地域防災計画の改定にあわせて迂回路の状況・災害危険箇所による交通途絶の有無などの実態調査を行っており、孤立化した場合の避難所の検討などを計画改定に反映したいと考えています。

問 大規模災害が発生しても重要事業を継続できるような計画が必要だと思いませんか。

答 災害時に備え業務継続計画の策定が必須と考え、各部署における非常時優先業務について計画策定をしています。

問 防災証明・義援金・避難所等、被災者の情報を一元多岐に管理できるシステムの導入としてはどうか。

答 被災された市民の情報を迅速・的確に集約し、業務ができる危機管理システムが必要と考えており、十分に研究し、導入に向けた検討を行いたい。



問 避難所の耐震化および設備の現状と今後の対応はどうか。

答 避難所三十九施設中、十施設が未耐震となっており、今後、耐震診断結果に基づき対応していきます。

設備については、耐震化とあわせて少しでも生活環境の整備に努めたいと考えています。

問 正確かつ迅速な情報伝達は、被害を最小限に食い止め、人命を守る上で重要ですが、この情報伝達にどう取り組むのですか。

答 全市民へ一斉に、より早く、確実に情報を伝達できる手段の必要性は強く感じており、防災行政無線の導入も検討していますが、メリット・デメリットもある中で、その他の手段も含め、引き続き検討したいと考えています。



那波中学校 校舎耐震化工事

問 相生市では、総務省の消防力の基準の、人員七十三名に対し、現有三十八名、充足率五十二・一％と非常に低いのが現状です。消防力の整備を進めるべきではありませんか。

答 今回の東日本大震災のような大規模災害になると現有の人員、資機材では災害対応に限界があると考えますが、県下消防本部の災害応援や緊急消防援助隊の支援を受け、被害を最小限に食い止めたいと考えています。

問 学校、公共施設の耐震化の取り組みをどう進めるのですか。

答

すべての学校施設の耐震化の完了年度を平成三十年としているが、文部科学省は、平成二十七年年度末までに全学校の耐震化を完了させることを目標としているため、本市においても今後の実施計画を見直していきます。

公共施設については、耐震診断の結果、図書館と市民体育館は早期に耐震補強工事を、また、市役所、市民会館などは、耐震診断結果により検討をしたと考えています。

耐震化に係る費用と、今後、使用可能な期間を考慮し、施設の安全性を確保していくための耐震化計画を決めたいと考えています。

相生市民病院運営
について
地域医療について

なかの 有彦
くひに 中野

問

相生市民病院の経営形態の見直し、他



市民病院待合ロビー

の市町立病院との合併など考えたことはないのか。

答 他の公立病院との合併の検討は、これまで行ったことはありません。経営形態の見直しについては、検討の結果、これまでどおり相生市の直営事業として継続していくことになりました。

問 市民から実現を望む声の多い小児科、産婦人科医療について今後どう考えているのか。

答 昨年、西播磨四市三町から兵庫県知事

に対し周産期医療（※）、小児科救急医療体制確立に関する要望をしていま

す。

また、郡市医師会、病院、市町、県の代表者で構成する西播磨圏域における産科、小児科体制研究会を発足させ、今年九月を目標に産科、小児科体制の充実に向けての方策の報告書がまとまる予定となっております。

問 小児科、産婦人科の救急車の搬送先、交渉回数、受け入れ拒否、たらい回しの現状は。

答 平成二十二年中の病院受け入れ二十九件の交渉回数は、一回が三十六件、一回が一件、三回が一件、十三回が一件でした。この十三回の事案については、妊娠九か月の妊婦さんが深夜に不正出血を認め救急要請をしたが、専門外、かかりつけ以外は受け入れ困難等で、最終的に神戸市内のかかりつけ病院に搬送したものです。

問 矢野・若狭野小学校の統廃合についてお伺いします。

答 相生市立小中学校適正配置計画に基づき、児童生徒に対する教育効果を第一に考え、地域の皆さんと協議を重ねており、その中で矢野・若狭野校区で幼・小・中が連携した新しい教育モデルを確立していきたいと考えています。

問 適正配置計画にある全市的なまちづくりの視点からの具体的な跡地利用とは何か。

答 学校は、地域にとつてのシンボルで地域の歴史そのものであり、地域ニーズの把握と地域特性や地域環境と調和した地域コミュニティ活性化に寄与するものであると考えています。そのため、自治会を中心に地域の皆さまと十分な意見交換をさせていただき

ます。

問 有害鳥獣について被害状況および駆除についてお伺いします。

答 平成二十一年度実績でイノシシ三・六

頭、鹿一・八頭、野鳥一頭、ア〇・三頭、合計六・七頭、九百万円となっております。

駆除は、猟友会への依頼を猟期を除いた四月一日から十月末までとしており、補助金交付をしています。今後についても猟友会と連携して駆除に取り組んでいきます。

問 矢野川・榊川・能下川・鍛冶屋川の環境整備についてお伺い

します。



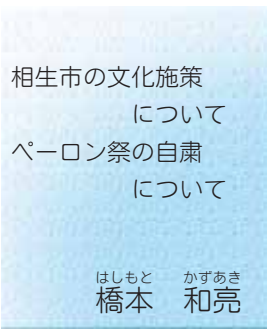
矢野川

※周産期医療：出産前後の期間の母子に生じがちな突発的な事態に対応するための産科と小児科とを統合した医療

答 矢野川・榊川・能下川をはじめ、市内に十三ある県管理河川については光都土木事務所

に本年六月末までに堆積状況を報告し、予算の増額を強く要望したい。また、河川の浚渫等の費用は、河川環境美化事業で

対応しており、この事業は、県からの委託金が二分の一ありますが、平成十六年当時は二百万円ありましたが、平成二十二年は、千八十万円に減額されています。今年度は、市単独事業費として四百二十万円を増加しており、少しでも堆積土の浚渫を行いたい。



問 文化芸術振興基本法を受け地方公共団体の責務として施策およびビジョン策定についてお聞きしたい。

答 地方公共団体の責務として文化芸術の振興に関し自主的かつ主

体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し実施することが規定されています。

施策としては、市民の芸術文化活動振興を図るため芸術文化団体が行う活動に助成金事業を行っています。

直接的にビジョン策定は行っていませんが一人でも多くの市民が文化芸術に触れ参画できる体制づくりを行うべく取り組んでいます。

問 文化事業が予算・事業共に貧困ではないか。

答 文化振興事業の当初予算は、三百八十万四千円での他に図書館・公民館などの予算の中にも文化芸術に関する事業が含まれています。ふるさと応援基金を文化芸術活動にも充当し、今後七十周年記念事業等を含め、すそ野を広げる事を念頭に置きます。

問 市民会館大ホール等使用のしおりについて。

答 パンフレットが確かにかた苦しい点があり、公の施設としての側面が強過ぎると思いま

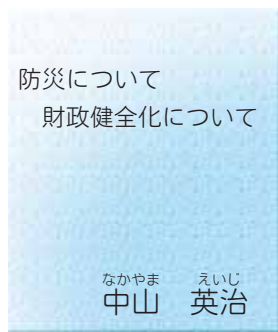
す。検討させて頂きたい。
問 文化振興課の設置を考えては、また文化面における顕彰制度を提案します。

答 すぐに回答はできませんが貴重なご提案として承ります。

問 ペーロン祭の自粛に到った経緯についてはどうか。

答 東日本大震災により、亡くなられた方々また現在も避難所等での生活をよぎなくされた方々の心痛を考え華やかに祭を開催する事は大変心苦しく思いました。

反省会などを通じご意見を聞かせていただき相生市最大のイベントを盛り上げていきたいので、ご理解願います。



問 地震の想定タイプ、長周期地震動(※)、液状化リスク等の影響をどのように計画している

のか。

答 兵庫県の予測を活用し海溝型、内陸活断層型、直下型等の地震を想定しています。長周期地震動は相生市内では地盤の特性から施設への影響は低いが、石油タンクの影響などには注意が必要で、液状化リスクは、県のデータにより埋立地等だけでなく、内陸の池などでも液状化リスクが発生することを承知しています。

問 原発震災によるリスクをどのように考え、放射能測定への対応はどのようにしているのか。

答 本市に影響がおよぶ事態になれば、国・県との連携を図り、市民の安全を守る体制づくりに努めます。兵庫県の六月五日現在の放射線量は、〇・〇三七マイクローシベルト(※)です。

問 緊急輸送道路沿いの倒壊リスクがある建築物に対し、耐震診断を義務づける条例の検討は。

答 道路等に倒壊する可能性の建物に、耐震診断を義務づける条例

の制定事例は聞いているが、今後慎重に考えていきます。

問 市長が昨年の九月議会でラスパイレス指数(※)は百が理想とした理由を示してください。

答 ラスパイレス指数は地方公務員法の趣旨を尊重すれば、百という数字が一つの基準となるという意味で答弁しました。

問 市長は平成二十一年六月議会で、名古屋市長の公約、市民税十%減税を百%不可能と答弁した理由と市民税減税による行政改革推進をどう考えるか示してください。

答 当時の名古屋市議会の状況を判断して不可能と答弁しました。減税による行政改革の推進は、減税により民間の可処分所得を増やし、経済活性化により行革を進めると理解しています。当時、名古屋市は地方交付税不交付団体で減税政策による行政改革も可能と判断します。

問 相生市は目的税である都市計画税の上

※長周期地震動：地震発生時に通常の振動と異なり、約2～20秒周期で揺れる振動のこと ※マイクロシールド：放射線が人間の身体に与える影響の単位。1 シールドの100万分の1 ※ラスパイレス指数：国家公務員の給与水準を100として地方公務員と比較した時の指数

限税率の見直しを検討したか。

【答】 対象事業で一般財源が都市計画税を下げたことあるが、上限税率は見直しません。



6月議会で決まったこと

【報告】

- ◇平成二十三年度相生市一般会計補正予算について処分の件報告
 - ◇相生市土地開発公社の経営状況について報告
 - ・以上二件の報告を承認、了承しました。
- 【条例】**
- ◇相生市福祉医療費等助成条例の一部を改正する条例
 - ・この条例改正は、ことも医療費助成について、県の補助が拡大されることに伴うものです。

議会活動状況

< 6月 >

- 10 議会報第101号発行
- 13 総務文教常任委員会
- 15 全国市議会議長会 (東京都)
- 16 市議会議員共済会理事会 (東京都)
- 市議会議員共済会代議員会 (東京都)
- 20 定例市議会 閉会
- 23 東京都大田区議会 行政視察来相
- 29 西播磨市町議長会役員会・総会 (姫路市)

< 7月 >

- 8 兵庫県市議会議長会監事会・理事会 (淡路市)
- 13 香川県丸亀市議会 行政視察来相
- 22 兵庫県市議会議長会 (三田市)
- 25 議会報編集委員会
- 28~29 播但市議会議長会行政視察 (大分県大分市)

< 8月 >

- 4 埼玉県新座市議会 行政視察来相
- 5 静岡県菊川市議会 行政視察来相
- 9 福島県猪苗代町議会 行政視察来相
- 23 兵庫県地方議会協議会 (神戸市)
- 24 民生建設常任委員会
- 25 総務文教常任委員会
- 26 福岡県豊前市議会 行政視察来相
- 30 議会運営委員会

< 9月 >

- 6 定例市議会 開会
- 7 定例市議会 再開
- 8 民生建設常任委員会
- 9 総務文教常任委員会

【事件案件】

◇訴訟上の和解について
・訴訟中の取立債権請求事件について、裁判所の和解勧告に基づき和解しようとするものです。

【予算】

◇平成二十三年度相生市一般会計補正予算
・ことも医療費助成、津波対応訓練、図書館および市民体育館の耐震化工事設計委託経費について補正を行うものです。

【人事】

◇教育委員会の委員として次の方の任命に同意しました。
姫路市広畑区西蒲田 三三一番地 浅井 昌平 さん

◇人権擁護委員の委員と

して次の方の推せんに同意しました。
相生市那波野三丁目 十一番五十一号 森川 順天 さん

【選挙】

◇安室ダム水道用水供給企業団議会議員について選挙を行い、角石 茂美議員が当選しました。

【委員】

◇農業委員会委員について、宮嶋 真木、三浦 隆利各議員を推せんしました。

請願の審査結果

【採択】

◇「取調への可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書」の提出を求める請願書

◇三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する請願書

意見書

六月議会で次の意見書が可決され、直ちに関係機関へ送付されました。
◇取調への可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書

◇三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する意見書

議長交際費の執行状況について

相生市議会では、開かれた市議会をめざして、議長交際費の執行状況を公開いたします。

平成23年度支出明細

区	分	件	数	金額(円)
慶	弔	費	2	23,000
渉	外	賄	2	45,000
そ	の	他	1	1,800
合	計		5	69,800

平成23年度予算額 300,000円

☆ 詳しくは、市議会ホームページ(※)をご覧ください。